



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 2年 5月26日

「あいうえお名人」再スタート！

校長 菅原 透



子どもの笑顔が戻った学校は、まさに魂が吹き込まれたよう…。あたりまえの日常にはほど遠いですが、あたりまえに一步近づけたありがたさをかみしめつつ、可能な限りの配慮を続けてまいります。

さて、今年度の学校経営で、めざす子ども像を“あいうえお名人”と掲げさせていただきました。子ども達には始業式で提示したものの、すぐに休校となり、仕切り直しとなりました。学校再開当日に6年生の学年集会に招かれ、話をする機会がありました。その際、めざす姿を共有しつつ、誰かがやるのではなく自分から取り組むこと、そしてみんな一つになり、自分達ですすめることの大切さを伝えました。6年生の真剣な表情から、一人ひとりのやる気と「これはいける！」という手ごたえを感じました。

毎朝、昇降口前ロータリーの中で“琢磨の校長像”よろしく、琢磨の像のわきであいさつをしています。握手できないもどかしさを感じながら、マスクをして普通の声であいさつを交わしています。そこで発見。6年生のあいさつがいい！特に、班長のあいさつは、自然でしっかりしている。バス通一番乗りの6年男子は「おはようございます」と大きな声で自分から。徒歩通の6年女子は「おはようございます」と優しいまなざしで自分から。すばらしい姿に心をときめかせています。また、1年生もかわいらしくあいさつしてくれます。入学式で、いえいえ、さかのぼると卒園式で、「校長先生と

元気にあいさつしてください」と約束しました。すなおな1年生は、それをしっかりやっています。小学校生活へのやる気に感動！もちろん、2～5年生もいい。昨日から計画委員会のあいさつ運動も始まりました。まだまだ伸びしろがある子ども達です。今後、“あいさつ名人”に向けて、もっともっと輝かせていきます。

現在、残念ながら“うたごえ名人”は自粛中ですが、“いい姿勢名人”は「立腰（りつよう）」のかけ声で、全校が上昇中。“えんぴつ名人”は、年度当初の確認事項として共通実践開始。そして“思いやり名人”は3密に気をつけながら実践中。1年生を迎える会はできませんでしたが、それに代わる「1年生ようこそウィーク」を考案し、メッセージカードのやりとり等、温かい心の交流を生み出しています。ある時、一年生から「お仕事がんばってね」との嬉しい言葉。こちらも「お勉強がんばってね」と返しました。何気ない言葉のやりとりにも絆を感じます。毎朝、見送りを続けてくださっているお家の方の心が、子ども達のしなやかな心を育てているのですね。心から感謝いたします。

知恵を出し、工夫を積み上げ、子どもに自信をつける…。手前味噌ですが、本校職員は本当に一生懸命やっています。師弟同行、啐啄同機…。

「あいうえお名人」を育て、「元気！本気！琢磨校」に再度、邁進いたします。

